

# TOKKATSU



第 1 号  
令和3年7月  
宮崎県小学校特別  
活動事務局発行

宮崎県小学校特別活動研究会だより「TOKKATSU」とは、特別活動に関する内容を、先生方と各家庭に広くお知らせすることをねらいとして作成しています。特別活動への取組をきっかけに、学校生活での児童の表現力や企画力、自治能力の向上やその他学びの多くの場面での推進につなげていければ幸いですと考えております。どうぞよろしくお祈りいたします。

## 宮崎県小学校特別活動部会会長 満行孝一

この度、宮崎県特別活動研究会会長を仰せつかりました広瀬西小学校の満行孝一です。県事務局の尽力により、今年度も本便りを発行できることを嬉しく思います。さて、皆様もすでにご存じのように、特別活動においては「問題解決の過程を学ぶ」ことが重視されています。つまり、特別活動の特質が、課題を見出し解決に向けて取り組むという実践的な学習であるということになります。そのポイントとしては、「人間関係の育成」「自己実現」「キャリア教育」の充実があげられます。解決方法を合意形成するだけでなく、実践を通して振り返る活動を取り入れ、集団や社会の諸課題を、他人事ではなく自分のこととして捉えることができるように個々の能力を高めていきたいものです。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

## キャリアパスポートって何?

今年度より正式に、学校では「キャリアパスポート」の活用がスタートしました。このキャリアパスポートとは、小学校から高等学校まで、子どもたち自身のキャリア形成に役立てるため、学習の過程を記録し振り返ることができる教材として作成するもので、自分の変化や成長に対し自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み自己実現につながるものです。

その記録はファイルケースに蓄積し、小学校から中学校高等学校へと持ち上がります。



学校と家庭で、「将来のなりたい自分の姿」の具現化に向けて、今の自分を振り返り、可能性を探り、解決策を考え、意思決定をしていくというキャリア形成の考え方が大切になってくるのです。そして、学校では、キャリア教育の要として実践しているのが、特別活動になります。

令和3年度宮崎県小学校特別活動部会研究主題  
「よりよい集団や社会の形成に向けた生きて働く力を育てる特別活動の創造」～集団活動における意思決定と合意形成を図る取組を通して～

第28回宮崎県小学校特別活動（北諸県）大会

・期日 令和3年11月26日（金）

・場所 三股町立勝岡小学校

お知らせ

## 特別活動で育てたい資質・能力について

特別活動とは、国語や算数…の教科以外の学習活動で、学校行事やクラブ活動、児童会活動、学級活動がこの内容に当たります。特別活動で育てたい力には「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの柱があります。

例えば、「話し合いを行う学級会」では、我慢するだけでなく自己主張をする、人の考えを聞いて折り合いをつけたりするなど、人とつながる中でバランスよく集団や個人を生かして人間関係を形成する力が重要になってきます。



学校生活の中で、様々な活動に関わり、そこでの問題を解決しながら、よりよいものにしていこうとするのが特別活動で育てたい資質や能力です。

## 学級会に取り組もう

特別活動を通したよりよい生活や人間関係づくりは、学力と相互に関連すると言われていています。（国研資料より）

下記は、令和3年度全国学力テスト第6学年児童質問紙項目（第40番）からです。

「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」

それぞれの学級で、実態に応じて学級の問題を解決するための学級会に取り組んでみましょう。県央の学校では、「TOKKATSU ノート」を活用し自治的能力を育てています。家庭では、まず始めに、聴く・受け入れるなど、傾聴して受容することに対してのご理解ご協力をどうぞお願い致します。

